



# ふれあい

日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

発行・編集

日本赤十字社高知県支部  
広報委員会  
〒780-0850  
高知市丸ノ内 1-7-45  
総合あんしんセンター 1 階  
TEL: 088-872-6295  
FAX: 088-872-6299



## ふれあい 支部長メッセージ

県民の皆様には日頃から赤十字事業の推進にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

毎年5月は、赤十字活動を普及するための「赤十字運動月間」としています。

県民の皆様には、災害時の救護活動をはじめ、南海トラフ地震など大規模災害に備えた活動や救急法の普及など赤十字が行う様々な人道的活動に温かく力強いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社高知県支部 支部長 濱田 省司



- 02 南海トラフ地震などの災害に向けた体制強化について
- 03 大阪・関西万博に赤十字も出展します  
5月は赤十字運動月間
- 04 有功章等表彰式、活動資金ご協力者、奉仕団紹介
- 05 ミニ講座、いきいき健康教室(高知赤十字病院)
- 06 鬼谷 慶子選手より、献血への「ありがとうの声」(高知県赤十字血液センター)
- 07 献血(ラブラッド)アプリの紹介(高知県赤十字血液センター)  
プレゼントクイズ
- 08 高知県青少年赤十字研究大会・「NHK海外たすけあい」街頭募金活動  
令和7年度日本赤十字社高知県支部主催講習スケジュール

大阪・関西万博入場券が  
当たるプレゼントクイズ!!  
関連記事3面



No.62  
2025.4



日本赤十字社創立150周年  
プロジェクトにおける記念ロゴ

日本赤十字社は令和9年に  
創立150周年を迎えます。

日本赤十字社高知県支部HPはこちら



# 南海トラフ地震などの災害に向けた体制強化について

2025年1月15日に政府の地震調査委員会は、南海トラフ巨大地震の今後30年以内の発生確率を「80%程度」に引き上げました。いつ発生してもおかしくない南海トラフ地震やその他の災害に対して、日ごろからの準備、備えが大切であり、日赤高知県支部では様々な研修や訓練を実施しています。今回は、令和6年能登半島地震の教訓をいかした取り組みを紹介します。

## ○日本赤十字社高知県支部災害対策本部要員研修会

災害対策では、被災状況や道路状況などの被害情報を把握し、限りある資源（日赤救護班や救護資材など）を適切な場所にタイミングよく送ることが大切となります。そのため、災害時には重要な調整業務を行う日赤高知県支部災害対策本部が設置されます。その業務を担う本部要員に対する研修会を11月18日、19日に開催しました。

本研修会は過去の多くの災害対応を経験した日赤が全国で展開するために作成した研修プログラムを先駆けて高知県支部で実施したものです。

全国から講師を招き、本部運営のための技術、時間経過による対応内容の検討、実際の本部運営の実習など、令和6年能登半島地震において総合調整を行った石川県支部の経験された事例を伺いながら行いました。

実際の経験談や本部運営の体験を通じて全体の被災状況を捉え、先を見通した対応を検討、展開することの難しさ、重要性を感じることができました。一方で、立地やスペース、通信機器や必要な資材などの今後取り組んでいく課題も得られました。



記録の取り方（クロノロジー）を学ぶ受講者



具体事案の対策を検討する受講者

## ○日赤高知県支部災害医療救護訓練

高知県支部では常備救護班6班（1班あたり、医師1名、看護師長1名、看護師2名、薬剤師1名、主事2名 計7名）を配備しています。救護班は、災害が発生すればすぐに被災地に駆けつけ、救護活動ができるように準備をしています。その救護班に対する訓練を11月に2日間かけて開催しました。



南海トラフ地震の被害想定をまとめる  
救護班員



炊き出し訓練の様子



避難所リーダーから状況を聞き取る  
救護班員



エアーテント内で傷病者の救護を行う  
救護班員

令和6年能登半島地震における避難所巡回や支援者への支援などにおける課題や対応事例、実際に使われた被災者情報を集約するシステムなどの入力訓練を取り入れ、実災害を想定した医療救護所の設置運営、避難所巡回の訓練を行いました。また、新たに本社整備により導入されたエアーテントの開設も行いました。

参加者からは、実際に使用される災害対応のシステムやツールのほか、新たに導入された資機材を使用できることにより、災害時の活動がイメージできたという感想がありました。

また、訓練初日には赤十字奉仕団による炊き出し訓練も行い、短い時間で約100食分を作る手順や役割分担を確認しました。

# 大阪・関西万博に赤十字も出展します！

## ■ 2025年大阪・関西万博 国際赤十字・赤新月運動館

2025年4月13日から10月13日までの184日間にわたり、大阪 夢洲を会場に大阪・関西万博が開催されます。

赤十字は「国際赤十字・赤新月運動館」として国連などの国際機関と同じ区画にパビリオンを出展します。「人間を救うのは、人間だ。～The Power of Humanity～」をコンセプトに、世界の人道危機、そこに立ち向かい、立ち上がる人々のヒューマンストーリーを通して赤十字の使命と人間のチカラを感じるパビリオンです。

## ■ MESSAGE

人道危機で平穏な日常を奪うことの理不尽さと、それに苦しんでいる人の存在を自分ゴトとして感じていただきたい。そして、その現実に立ち向かう勇気と、苦しんでいる人を救うことの大切さに気づき、誰かのために自分ができることがあると感じ、一歩を踏み出すきっかけになることを願っています。

## ■ 万博と赤十字

1863年に赤十字機関(現在の赤十字国際委員会)が誕生してから4年後、パリ万博は世界に赤十字思想を発信する初の国際的な舞台となり、以降の万博も赤十字思想を発信する重要な機会となり続けました。1867年のパリ万博の会場では、日赤の創設者となった佐野常民をはじめ、世界各国の人々が「敵味方の区別なく救う」ための画期的な国際条約や仕組みに衝撃を受けました。その後の1873年のウィーン万博にも参加した佐野は、さらに多くの国による赤十字関連の展示を目にし、傷つき苦しむ人を「救いたい」思いは、世界共通であると確信。のちに、これこそが文明開化の証と述べています。万博は日赤誕生の原点であると共に、万博と赤十字は今も昔も「救いたい」という思いでつながっているのです。

## ■ その他の関連情報

### ①赤十字情報プラザ 企画展「万博と赤十字～日赤発祥の原点は万博にあり～」

会期: 2024年10月1日～2025年10月30日(現在開催中)

場所: 東京都港区芝大門1-1-3(日本赤十字社 本社1階)

事前予約制、火・水・木 10:00～16:30

WEBミュージアムも同時開催 <https://jrc.or.jp/webmuseum/>

### ②赤十字パビリオンの最新情報は特設ウェブサイト、公式SNSで随時発信しています。

日赤特設ウェブサイト <https://expo2025.jrc.or.jp/>



## 5月は赤十字運動月間です

いつも、日本赤十字社高知県支部の活動にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

日本赤十字社は国内外における災害救護をはじめとし、「苦しんでいる人を救いたい」という思いを胸に、様々な活動に取り込んでいます。

毎年5月を「赤十字運動月間」として、赤十字の理念や活動へのご理解とご協力を呼びかけています。

お寄せいただいたご寄付は、赤十字の災害救護活動や被災者へ配布する救援物資の備蓄、救急法等の講習実施など、赤十字の人道支援事業に活用させていただいております。

また、南海トラフ地震の30年以内の発生確率の引き上げなどを受け、これまで以上に災害への備えを進めていく必要があります。

日赤では、今後もさまざまな活動に尽力してまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願ひいたします。



4月26日(土)には、帯屋町アーケード街、おまち多目的広場にて、土佐女子中学・高等学校の吹奏楽部の先導により、奉仕団員総勢約200名が「赤十字運動月間啓発パレード」を行います。

日赤へのご寄付に関してはこちらから



# 令和6年度日本赤十字社有功章等の表彰式を行いました

令和6年10月17日、高知赤十字病院にて、これまで高知県支部に多額のご寄付をお寄せくださった個人2名、法人15社、活動資金募集活動等への功労を称え、個人25名と57の地区分区へ濱田支部長より表彰を行う式典が執り行われました。



令和6年10月22日(火)、公益財団法人三一会様より災害救援車両(通信指令車)をご寄贈いただきました。

今後、県内外での災害救護活動や日々の支部活動等で大切に活用させていただきます。



## 活動資金ご協力者一覧

### ●個人

戸梶 恵子様  
三本 貞子様

令和6年7月～12月までに、5万円以上のご寄付をいただき、掲載についてご了承をいただいた方を掲載しています。

### ・高知市

いう会様  
高知県ビル協議会様  
高知ITワークス合同会社様  
特定非営利活動法人しあわせ様

### ・南国市

有限会社 坂本自動車様

### ・須崎市

株式会社 力ネエイ様  
株式会社 須崎青果様  
株式会社 パンクチュアル様



## 奉仕団紹介 第3回

### 【奉仕団の紹介】

### 香美市赤十字奉仕団

香美市は高知県の東北部に位置しており、柚子を始めとした農産業や土佐打刃物、端午の節句に欠かせないフラフといった伝統工芸が盛んです。春から放送される連続テレビ小説あんばんのモデルとなる漫画家やなせたかし先生のふるさとである「愛と勇気の物語のまち」を盛り上げようと、現在2つの分団が活動しています。

### 【赤十字のつどい】

日本赤十字社高知県支部より講師を招き、実技を伴った応急手当の講習会を主催しました。毎年1月に地域住民の防災意識の啓発活動としてはじめた「赤十字のつどい」も今年で4回目となり、地域住民と一緒に三角巾やキッチンラップ等の身近な物を使って傷の手当や固定を学びました。



### 【炊き出し訓練】

来る南海トラフ地震に備えて、年4回炊き出し訓練を定期的に実施して防災意識を高めています。ハイゼックス炊飯袋を用いた炊飯や包丁を使用しない料理、火や熱を使わない料理など様々な場面に対応できるように試行錯誤しながら訓練を行っています。継続して続けていけるよう、団員同士が会話を楽しみながら訓練を行っております。



## お住まいの地域へ「ミニ講座」の出張をします

高知赤十字病院では、専門職による「ミニ講座」を出張開催し、県民の皆さんに医療や看護、介護などの正しい知識を身についていただくことで、安心して暮らしていける地域づくりに貢献したいと考えています。講師料は無料です。



救急看護認定看護師  
「南海トラフ巨大地震への備え」



管理栄養士  
「食べて健康！～食べ物の力～」



糖尿病看護認定看護師  
「糖尿病の合併症を体験しましょう」

詳しくは、高知赤十字病院  
ホームページをご覧ください。



高知赤十字病院 ミニ講座

参加  
無料

## 令和7年度 高知赤十字病院 「いきいき健康教室」

当講座は、「健康でいきいき暮らす」ためのヒントや知識を、専門の講師が分かりやすくお伝えします。  
どうぞ、お気軽にご参加ください。

開催場所 開催日時	高知赤十字病院 2F図書ラウンジ / 第三水曜日 12時30分～ 感染症拡大状況により、急遽中止となる場合があります。 また12月～3月はインフルエンザ流行期につき、休講いたします。		
教室内容	健康講座(約30分)		
対象者	地域住民の皆さん、外来・入院患者さま		
開催日	テーマ	実技	講師
4月16日(水)	「減塩食」って難しくない！！		管理栄養士
5月21日(水)	あなたの肌を守るスキンケア		皮膚排泄ケア認定看護師
6月18日(水)	アルコールとの上手な付き合い方		健康管理センター長(医師)
7月16日(水)	熱中症、人ごとだと思っていませんか？！		救急看護認定看護師
8月20日(水)	口腔ケアについて		摂食嚥下障害看護認定看護師
9月17日(水)	南海トラフ巨大地震に備える		臨床心理士
10月15日(水)	薬の正しい使い方		薬剤師
11月19日(水)	みんなで防ごう！ インフルエンザの予防の知識		感染管理認定看護師

## パリ2024パラリンピック銀メダリスト 鬼谷 慶子選手(高知県出身)より、

### 献血への「ありがとうの声」をいただきました

昨年のパリ2024パラリンピック陸上女子円盤投げで銀メダルを獲得された、高知県出身の鬼谷 慶子選手。鬼谷選手は、20才の時に自己免疫性の神経難病を発症し、血漿交換療法や免疫グロブリン療法といった、献血で提供された血液を用いた治療を経験されてきました。現在も、定期的に血漿交換を受けながら、パラ陸上選手として投てき競技に取り組まれ、昨年、パラリンピック初出場で銀メダル獲得という快挙を成し遂げられました。

この度、鬼谷選手より、献血にご協力くださった方への感謝のメッセージをいただきました。以下、メッセージの一部を掲載させていただきます。メッセージ全文は高知県赤十字血液センターの公式HPに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



(メッセージ本文より抜粋)

私が患っている自己免疫疾患とは、免疫細胞などが、誤って自分自身の細胞を攻撃してしまう病気です。これに対して血液浄化療法や免疫グロブリン療法などの治療があり、実はどちらも献血との深い関わりがあります。これらの治療で使う製剤の一部には献血で提供された成分が使われる事があります。私はこの治療を今も定期的に受けております。献血は輸血だけでなく、多くの治療法に欠かせない存在で、日常的に多くの人を支えています。

競技だけでなく日々の生活も、多くの方の献血へのご協力なしでは成り立たないことを、私自身が強く感じています。皆さんの献血が、様々な困難を抱える人にとって大きな希望となっています。献血の血液がどこでどの様に使われているかなかなかイメージがつきづらいですが、想像よりも「すぐ近くにいる誰か」が救われているかもしれません。

最後に、献血にご協力くださっている皆様に改めて感謝申し上げます。これからも、多くの命を支える献血へのご協力をよろしくお願ひいたします。

#### ■ 鬼谷 慶子 選手

メッセージ全文は  
こちらの二次元コードから  
お読みいただけます。  
(血液センターHP)



高知県高知市出身。20才の時、自己免疫性の神経難病を発症。左半身にまひが残り、車いすでの生活となる。血漿交換療法や免疫グロブリン療法といった、献血血液を用いる治療を定期的に受けながら、パラスポーツの投てき競技に取り組み、パリ2024パラリンピックに出場、陸上女子円盤投げ(座位F53)で銀メダルを獲得。現在、東京エネシス所属。



## 第33回(令和6年度)

### 高知県青少年赤十字研究大会・「NHK海外たすけあい」街頭募金活動を開催!

12月1日(日)に高知県青少年赤十字加盟校の小・中・高校生や各奉仕団員など約70名が集まり研究大会を開催しました。

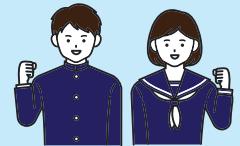
日頃、各校で行っている様々な活動の発表や意見交換、気象台の「自然災害に備える」と題した講演を聞くなどして、交流をおこないました。

献血推進や地域を巻き込んだ避難訓練、オリジナルの非常用持出袋など学校独自の活動に生徒たちだけではなく、参加していた奉仕団員等も興味津々で質問が飛び交いました。



#### 活動発表テーマ

- 土佐中・高等学校  
【2024年度の取組】
- 高知県立高知北高等学校  
【高知北高校昼間部生徒会の地域と連携した防災の取組】
- 高知高等学校  
【高知高校としての防災の取組】



研究大会終了後には、3か所に分かれて「NHK海外たすけあい」街頭募金活動をおこないました。参加者は「海外には紛争や自然災害等で苦しんでいる人々がたくさんいる」という現状を事前に学び、自分たちの言葉で呼びかけを行い、今年度もたくさんの方々から、58,205円のご協力をいただきました。

「NHK海外たすけあい」は、NHKと日本赤十字社との共催による募金キャンペーンとして、毎年12月に開催し、ご協力いただいた募金は、世界各地で紛争、災害、病気などに苦しむ人々のために役立てられています。



## ● ● ● ● 令和7年度 日本赤十字社高知県支部主催講習スケジュール ● ● ● ●

### ○救急法【基礎講習】(時間／13:00～17:30)

- ①5月17日(土)
- ②6月8日(日)
- ③7月5日(土)
- ④8月9日(土)
- ⑤10月5日(日)
- ⑥12月6日(土)
- ⑦2月23日(月・祝)



### ○救急法【救急員養成】(時間／9:00～17:30・2日間)

- ①8月23日(土)、24日(日)
- ②10月18日(土)、19日(日)
- ③2月28日(土)、3月1日(日)

### ○健康生活支援講習【支援員養成】(時間／10:00～16:00・2日間)

- ①5月17日(土)・18日(日)
- ②8月30日(土)、31日(日)

### ○幼児安全法【支援員養成】(時間／9:00～17:00・2日間)

- ①6月28日(土)、29日(日)
- ②10月4日(土)、5日(日)

### ○水上安全法【救助員Ⅰ】(時間／9:00～17:00・3日間)

- ①7月19日(土)、20日(日)、21日(月・祝)

### ○水上安全法【救助員Ⅱ】(時間／9:00～17:00・2日間)

- ①7月26日(土)、27日(日)※予備日8月9日(土)、10日(日)

### ○雪上安全法【救助員Ⅰ】(時間／9:00～17:00)

- ①10月4日(土)

### 短期講習 いきなり長時間の養成講習はちょっと…という方は、まず少しだけ体験してみませんか?

#### ○避難生活支援講習(時間／13:00～15:00) ①6月8日(日) ②12月14日(日)

#### ○健康生活支援※認知症について(時間／15:30～17:00) 6月8日(日)

#### ○幼児安全法※乳幼児の一次救命処置(時間／10:00～11:30) 11月29日(土)

## 遺言・相続財産・お香典でのご協力について

近年、「自分が亡くなった後、これまで築いた財産の一部を赤十字に寄付したい」といったご相談や、大切な方を亡くされたご遺族から、「故人の遺産を社会のために役立ててほしい」というお申し出を多くいただいております。

日本赤十字社では、このような尊いご意思に応えるために、遺贈(遺言によるご寄付)、相続財産等のご寄付を承っております。



お問い合わせは高知県支部総務課(088-872-6295)までお電話ください。